

平成 31 年度・令和元年度 事業報告書

(自) 平成 31 年 4 月 1 日

(至) 令和 2 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 31 年度・令和元年度は、全国の公共施設（学校・福祉施設・公園・河川等）の健全な緑化推進・環境保全事業はもちろんのこと、被災地の復興支援活動にも、地方自治体や関連団体、関係省庁と連携し尽力いたしました。当会のシンボル事業となりました桜公園の造成は『宮城県県民の森』に 2 回目の植樹をし、300 本の「ゴルファー桜の森」が完成しました。その後の保全活動やネイチャークラフト活動、また学校単位の「森林教室」を通じ、サクラの健全な育成に加え、子どもたちの感性を醸成する機会にもなりました。地域内外問わず、多くの方々から心安らぐ場として今や大変喜ばれております。

また、昨年度より計画を進めてまいりました岩手県野田村のハマナス植栽事業、二戸市の漆植栽事業は、共に多くの大人や子どもが集まり「植樹祭」を開催することができました。来年度もそれぞれの事業を丁寧に継続します。

令和元年度は台風などの甚大な自然災害が相次ぎましたが、関連団体等のご協力もあり、事業は順調に推移してきました。しかしながら、令和 2 年に入り新型コロナウイルスが国内外に蔓延し、3 月開催の行事・イベント等の中止や延期が余儀なくされ、心残りの終盤となりました。

当会の取り組む事業は、地域と、自然と、ヒトと、未来と... 全てをつなぎ、地球環境をより豊かにしていく活動と心得ます。これはまさに、全国のゴルファー、ゴルフ場、会員の皆さまをはじめ、関連団体の方々へのあたたかいご理解、ご支援の賜物と心より感謝いたし、令和 2 年度へ繋いでまいります。

2. 会員増等への取り組み

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

新規入会の勧誘、そして会員の維持に努めてまいりましたが、あいにく正会員ゴルフ場の退会がありました。

2. 賛助会員・寄付金の拡大

会員のご協力により、新たに賛助会員としてのご入会をいただきました。

ホールインワン・アルバトロスを達成された 103 名の方々より、そしてイベント開催や、「あらまし 2019.08」の発行、ホームページ、フェイスブック等を通じた活動報告により、ご寄付をいただきました。

3. 事業活動

(1) 地方緑化事業

1. 緑化協力金の配分

令和元年9月（第85回配分・平成31年1月～令和元年6月緑化協力金分）と、令和2年3月（第86回配分・令和元年7月～12月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として31.3百万円を下表の各団体に配分しました。

〔ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先等〕

| ゴルフ場の区分 | 緑化協力金の配分(委託)団体 | 委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 31,378 千円 |
|------------|----------------|---|
| ①一般ゴルフ場 | 都道府県緑化推進委員会 | 公立の小中学校、病院、福祉施設など社会公共施設の健全な緑化等 20,760 千円 |
| ②国立公園内ゴルフ場 | 国立公園地域内団体 | 国立公園等の環境・美化緑化活動 138 千円 |
| ③河川敷ゴルフ場 | 河川財団 | 協力ゴルフ場のある水系の河川、及びその近傍における健全な緑化等 10,480 千円 |

2. 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・環境保全のため、植樹緑化事業を推進いただきました。また、社会環境の変化に応じ、健全な緑化活動として、植栽樹木のメンテナンス、除伐等も積極的に取り入れていただきました。

3. 地方緑化事業の規模

地方緑化事業以外に次項で述べる「全国緑化事業」「植樹緑化事業」においても、緑化推進・自然環境保全活動を行っておりますが、特に甚大な地震や台風、洪水等、自然災害に見舞われた被災地支援のための植樹、環境改善、また次代を担う子どもたちのための教育環境緑化推進等に尽力いたしました。

(2) 全国緑化事業

1. マツ枯れ対策

松くい虫防除対策として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究に対して助成し、必要とされるゴルフ場や地域に配布する予定です。今年度は、全国21ゴルフ場から申し込みを受け、5年生抵抗性アカマツ（樹高50cm-120cm）合計1,170本を令和2年3月に配布いたしました。昭和56年度より支援を、昭和58年度から配布をスタートし毎年継続しています。

2. 緑化貢献の顕彰

ゴルファーの方々を顕彰する制度として平成19年度にスタートした「緑化貢献大賞」と「エージシュート大賞」は好評を得ています。達成されたゴルフ場を通じ、トロフィーまたはバッグ札を授与していただき表彰いたしました。令和元年度「エ

ージシュート大賞」は 16 名、年間最多プレーの方々を表彰する「緑化貢献大賞」は 20 名でした。

3. GGG 国立・国定公園支援事業

環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと、自然環境保全を目的としたボランティア団体の健全な活動に支援いたしました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所、または都道府県から推薦が得られた団体の申請を受け、選考委員会で厳正な審査のうえ選定。28 団体に助成いたしました。ボランティア団体の方々からは大変喜ばれ、今後のさらなる活動が期待できます。事務局を一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

(3) 植樹緑化事業

望まれる被災地復興支援、意義ある緑化推進、環境保全を、そして次代を担う子どもたちの学校や福祉施設、公園などの公共施設をとりまく緑化環境の改善に注力いたしました。創立 40 周年記念事業として平成 27 年度下期より実施してきた事業のフォローアップにも努めました。

1. 被災地復興支援事業

復興のシンボルである憩いの桜公園づくりは、「宮城県県民の森」内で推進しています。また、海岸防災林の再生事業「golfer 未来の森」については維持管理に必要な保育作業を、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、丁寧に実施しました。

(1) 宮城県県民の森「golfer 桜の森」づくり (宮城県富谷市明石地内)

宮城県県民の森(四季の森)内の約 0.5ha を造成地として、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会との共催で推進しました。

平成 30 年 10 月 6 日(土)に第 1 回植樹祭を開催し、120 本のサクラ苗木を植栽しました。そして、今年度は平成 31 年 4 月 13 日(土)、「第 2 回桜植樹祭 in 宮城県県民の森」を開催し、13 家族、児童、地元有志、ボランティアの方々など、総勢 133 名が集い、季節長く楽しめるバラエティに富んだサクラの苗木を 180 本植栽しました。また、寄付くださいましたの方々のお名前(希望者)を銘板に刻印し設置。合計 300 本からなる「golfer 桜の森」になりました。

今後は、県内外の人々が交流、そして楽しめる桜名所に育てていきます。

(2) golfer 桜の森「ネイチャークラフト活動」in こどもの日クラフトまつり

令和元年 5 月 5 日(日)『宮城県県民の森 こどもの日クラフトまつり』に合わせ

「golfer 桜の森」の開所記念としてブース出展しました。訪れた 90 名ほどの子どもたちは、造成・保全活動の際に出た除伐材等を用い、ネイチャークラフト作品づくりを楽しみました。当会の活動を PR するとともに、木育や環境学習活動を通じ、緑化の大切さや生活に木を取り入れていく良さを感じる機会といたしました。

(3) 「golfer桜の森」保全事業

「golfer桜の森」が健全に育成し、より多くの方の憩いのフィールドになるように300本のサクラの刈払整備、つる切り、点検など、6月から9月にかけて保育作業を行いました。植えつけ不良、ウサギ食害、つる害による40本程度の枯損が見られましたので、11月に開催した「golfer桜の森『森林教室』仙台市立六郷小学校」の際に、捕植いたしました。

(4) golfer桜の森「森林教室」

「golfer桜の森」では、地域の子どもたちが森づくりに挑戦したり、自然と触れ合ったりする機会を提供します。一人ひとりが自然環境に対する理解を深め、感性を養い、自分たちでサクラを育て見守る意識を醸成する場にしていきます。

そこで‘第一弾’として、令和元年8月27日(火)『仙台市立泉松陵小学校』の小学5年生66名対象に、引率教職員4名、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会より指導員等22名、総勢92名で「森林教室」を開催いたしました。苗木のつる切り・施肥、除伐枝打ち、竹きり運搬、遊歩道づくり等の森づくり活動を実施。午後は、ネイチャークラフト工作やロープ遊び、薪割り、駒回し等のいろいろな技術習得活動を楽しみ、学校からも大変喜ばれました。

令和元年11月25日(月)には、‘第二弾’として『仙台市立六郷小学校』3年生104名対象に、引率の先生、指導員等含め、総勢138名で実施いたしました。本小中学校は、東日本大震災の被災地学区に含まれています。

午前中は、森を探検し自然観察を、そして苗木の施肥や遊歩道づくり、さらにはオオシマザクラとヤマザクラを25本ずつ植樹しました。午後は、伐採した森の木枝を使ったネイチャークラフト工作を、そして様々な減災・技術習得活動(薪割り、井戸掘り、ロープわたり、ジャグリング、バドミントン等)に至るまで存分に楽しく体験しました。

本格的な森林で森づくりに挑戦し自然とふれあうことで、自然環境に対する理解が深まるとともに、心を解き放ち感性を醸成する機会になりました。また、逞しく「生きる力」を育むための減災体験の機会にもなりました。

学校から、たくさんの感謝と次の開催への期待の言葉をいただきました。

(5) 「golfer未来の森 山元」保全事業 (宮城県亘理郡山元町 3,000㎡)

宮城県、山元町とともに、平成28年度より3年かけ山元地区に抵抗性クロマツ1,550本の苗木を植栽し「golfer未来の森」を造成しました。

健全な育成を推進するため、草刈り、草抜き作業等を今夏も実施しましたが、昨年度しっかり保全活動を行ったことで状況は良く、基本的な作業の対応で済みました。苗木は順調に生育しています。

(6) 「golfer未来の森 仙台」保全事業 (宮城県仙台市荒浜 2,000㎡)

平成29年度に造成したクロマツ1,000本の「golfer未来の森 仙台」を健全に育てるため、下刈、補植等、維持管理活動をし、順調に成長しています。

(7) 「**ゴルファー未来の森 北官林**」保全事業 (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m²)
平成 29 年度に造成したクロマツ 520 本の「ゴルファー未来の森 北官林」の除草保全作業を実施いたしました。3 月には施肥をし、成長の後押しをいたしました。

(8) **七ヶ浜町菖蒲田浜海岸 清掃活動** (宮城県宮城郡七ヶ浜菖蒲田浜地区)
今や大きな環境課題のひとつ、海洋プラスチックゴミ対策として、2 年前より仙台唯一の海水浴場の海岸清掃に取り組んでおります。今年度も地元の方々強い要望を受け、令和 2 年 3 月 7 日 (土) に、県内の多くの親子、子どもたち、緑の少年団、ボランティアの方々とともに実施する計画を進めてきました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受け、中止を余儀なくされました。

(9) **野田村「ハマナス」植栽事業** (岩手県野田村十府ヶ浦公園)
東日本大震災、そして復興目前の大きな台風により重ねて甚大な被害を受けましたが、復旧・復興を進め、徐々に生活が戻ってきました。支援を受けながらも交流をはぐくんできた村外の方々と住民との思いが結集し、今やコミュニティの再生、新たな村づくりへと前進しています。

そこで、野田村の花「ハマナス」を植栽することで景観を再生、創造し、村の方々にとっては心安らぐ、また村外からも多くの方々が楽しみに訪れる豊かな地域へと 3 年かけて支援していきます。

令和元年 8 月 11 日 (日)、「鎮魂と復興」の祈りを込めた恒例の花火大会「LIGHT UP NIPPON」と併催の「野田村三陸夢アートプロジェクト音楽祭」のプログラムのひとつとして「ハマナス植樹祭」を実施いたしました。冷たい雨の 1 日でしたが、野田小学校の子どもたち、村の方々、弘前大学ボランティアセンターの方々など 100 名ほどの参加者によって 500 株の苗を植樹、無事終了いたしました。

令和元年 11 月 6 日 (水) には、野田村保育所園庭に園児 36 名と保育士 4 名で、100 株の苗を植栽しました。園児たち自らが楽しんで「ハマナス」を植栽したことで、愛着形成の一助になりました。今後、保育所で育苗し成育を見守っていくことで、美しい心とむ村づくりの機運が高まっていくものと確信しました。

(10) **アカマツのコンテナ苗生産システムの構築支援事業**

昭和 56 年度 (1982 年) 以降、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林への研究助成により、全国のゴルフ場に採種園由来の苗木を配布し、その累積本数は昭和 56 年度から平成 27 年度 (1982 年-2016 年) までで約 10 万本に達しました。

しかしながら、従来のゴルフ場に適した路地植え式での苗木生産方法の場合、人手や作業量、コストが大きく、生産そのものが困窮しているのが現況です。そこで、ゴルフ場に向けて、望まれる苗木の生産を継続できるようにコンテナ苗に着眼し、その生産システムの構築完成を目指し、同千葉演習林を創立 40 周年記念事業の一環として支援しました。

3 年に渡った研究により、ゴルフ場にとって管理しやすいアカマツの生産において

ても、コンテナによる生産は有用であることが明らかになりました。1) 露地植えよりもコンテナでの育成のほうが成長に優れ、2) 露地で発芽させた実生苗をコンテナへ移植するより直接コンテナに播種するほうが、成長・生存率ともに良好。また3) 露地栽培の半分の2年間で苗高50cmに成長。さらには4) 雑草の発生は殆どなく、除草作業はわずかな労力で済みました。

結論として、ゴルフ場で管理しやすいアカマツをコンテナで育苗することは可能であり、露地栽培よりもはるかに少ない労働力で栽培できることが明白です。本研究により、確立した抵抗性アカマツ苗の生産システムは社会的にも非常に有益であると考えられます。

現在かかえている問題点の改善、解決するシステムを3年の研究で構築できたことは大変喜ばしく、今後は本システムへの移行を速やかにお願いし、全国のゴルフ場が希望される抵抗性マツ苗木の配布を潤沢にできるように努めていきます。また、同千葉演習林は、学会発表や論文等で公表し、社会と共有していく計画です。

2. 健全な緑化・環境教育支援事業

(1) 二戸市「漆うるわしの森」植栽事業 (岩手県二戸市浄法寺町 3.01ha)

国内で使われる漆は97%が中国からの輸入に頼り、国産漆は3%に過ぎません。そして、その約70%を浄法寺産の漆が担っています。平成27年度(2015年)、国宝・重要文化財の修復には国産漆を使用するという国の方針が発表されました。漆を植栽し掻く(削る)ことができるまで15年かかり、供給量も職人も不足しているのが現状です。

そこで、二戸市が取り組んでいる漆の植栽、漆職人育成事業等に賛同し、漆植栽事業を推進します。健全な漆の育成事業は、日本の文化を守り育てることに繋がります。

二戸市漆産業課と連携し、浄法寺町漆原地区の予定地に3,000本の植栽を行い、5年にわたり支援していく計画です。

令和元年10月3日(木)、二戸市において「漆うるわしの森づくりに関する協定」の調印式、そして記者発表を執り行いました。

好天に恵まれた令和元年11月13日(水)『うるしの日』には、「漆うるわしの森植樹祭」を開催しました。二戸市立小中学校、岩手県立一戸高校、企業、組合の方々を含め、11団体207名の方々が集い、漆200本、トチ200本を植栽。そののち、堆肥まきもいたしました。

二戸市立中学校代表の生徒たちや校長先生方と給食懇談会をし、午後は中学校講堂において小学5年生及び中学生総勢103名に向けて当会事業について説明をいたしました。そして、浄法寺歴史民俗資料館の中村弥生調査員による「うるし日記(記録映画:昭和22年 理研映画株式会社製作)」の解説、上映と続けました。閉会式では、生徒代表からの挨拶に校長先生の講評と盛りだくさんで、皆の心に残る有意義な1日となりました。

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

なお、後日、森林組合の方々の協力を得、予定通り全苗木の植栽を完了しました。今後は健全に生育するように保全活動を推進します。

(2) 学校教育環境向上のための緑化事業 (沖縄県糸満市)

第43回全国育樹祭(令和元年12月15日(日)開催)のお手入れ行事が開催される糸満市において、開催機運を盛り上げていくため、市内小学校4校(喜屋武小学校・米須小学校・真壁小学校・西崎小学校)において、学校教育環境向上を目的とした緑化事業を行いました。それぞれ土壌改良等を行い、季節感を感じられる花木、パッションフルーツ、ヒカンザクラ、マニラヤシ、ソテツ、ブッソウゲなどを植栽しました。

平成31年4月25日(木)には、喜屋武小学校において完成記念式典を開催し、児童たちと一緒にタイワンコウメの記念植樹をいたしました。さらなる活動を期待し、緑の少年団の制服も贈呈しました。

(3) 緑のまなび事業* [学校教育環境向上のための緑化事業] (滋賀県甲賀市)

第72回全国植樹祭(令和3年春季開催)が開催される甲賀市甲賀町の「鹿深(かふか)夢の森に隣接する大原小学校を始めとする油日小学校、佐山小学校が共同で記念植樹をし、教育環境向上・森林環境教育の推進とともに、全国植樹祭開催機運の醸成を図る目的で推進しました。

令和2年2月28日(金)・29日(土)には、大原小学校の学校林(0.22ha)を地拵え後、シカ・ウサギの侵入防止柵を設置しました。

3月5日(木)に同学校林に卒業記念植樹をし、3校の緑の少年団89名が植樹活動を、そして記念式典を合同で開催する計画でしたが、新型コロナウイルスの発生、感染予防の観点から、式典は中止、植樹は規模を変更・縮小しての実施となりました。

3月19日(木)、佐山小学校、油日小学校の卒業式で、各緑の少年団が、それぞれ記念植樹(イチョウ、クヌギ等)を実施。そして、3月27日(金)大原小学校の緑の少年団『卒業生』が同学校林において、他の2校からリレーされた苗木を含めヒノキ480本の植樹活動ができました。

新型コロナウイルスの影響で、行事や卒業イベント等が中止のなか、子どもたちの笑顔あふれる森林学習の1日になったという嬉しい報告が届きました。

今後のより一層の活躍を期待し、各緑の少年団に制服も寄贈いたしました。

***緑のまなび事業**—児童たちの心と記憶に残る事業となるように、事業名称を変更

緑化実績

| | | 平成31年度・令和元年度 平成31年4月～令和2年3月実績 | | 累 計 | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------------|--------|--------|-----------|-----------|
| 区 分 | | 植樹箇所 | 植樹本数 | 植樹箇所 | 植樹本数 | |
| 地方緑化事業 | | 植樹 | 57 | 13,349 | 6,522 | 1,679,347 |
| | | 伐採 | 6 | 77 | 10 | 300 |
| 全 国 緑 化 事 業 | 抵抗性マツ苗木配布 (ゴルフ場対象) | | 21 | 1,170 | 2,260 | 340,662 |
| | サクラ苗木配布等 | | — | — | 410 | 98,260 |
| | 健全な緑化・環境教育支援事業 | | 2 | 3,449 | 2 | 3,449 |
| | 震 災 復 興 支 援 | 抵抗性マツ苗木植樹 | — | — | 24 | 24,996 |
| | | サクラ苗木植樹 | 1 | 180 | 15 | 2,024 |
| | | 広葉樹苗木植樹 | — | — | 10 | 7,716 |
| | | その他 | 1 | 500 | 3 | 6,500 |
| 合 計 | | 86 | 18,725 | 9,254 | 2,163,254 | |

4. その他事業

1. ホームページの充実

ゴルファーのみならず、誰からも当会活動への興味、理解が得られるように、そして賛同、支援へつながるように、ホームページ、フェイスブックの更新、刷新を適時図っています。

2. ロハスフェスタへの後援・協賛

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ、全開催に対し — ロハスフェスタ万博 2019 SPRING (4月26日～28日/4月29日～5月1日)、ロハスフェスタ広島 2019 (5月24日～26日)、ロハスフェスタ南港 2019 SUMMER (8月10日～12日)、ロハスフェスタ東京 2019 (9月14日～16日)、ロハスフェスタ淡路島 2019 (10月12日～14日)、ロハスフェスタ万博 2019 AUTUMN (11月1日～5日/15日～17日) — 後援・協賛しています。

万博、広島、東京の3会場において、ブース出展をしました。淡路島でも実施する予定でしたが、台風のためフェスタは中止になりました。

環境問題に対して意識の高い層へ、ゴルフ場の地球温暖化防止をはじめとした環境保全に対する貢献度、被災地支援の活動報告、海岸防災林再生活動の重要性、そして健全な緑化の必要性等を周知する機会としました。

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

| 平成31年度・令和元年度 ロハスフェスタ | 入場者数 | 出展数 | 回収量 | | | | | |
|---|--------------|------------|----------|--------------|-----------|-------|-----------------|---------|
| | | | ゴミ | 使用済み 天ぷら油 | 牛乳 パック | ダウン | 古本回収 (本de寄付) | 紙袋回収 |
| ロハスフェスタ万博2019SPRING 平成31年 4月 26日(金)～ 28日(日) 4月 29日(月)～ 5月 1日(水) 於：万博記念公園(大阪府吹田市) | 125,953 人 | 696 フェース | 1,770 kg | 480 L | 110 kg | 58 個 | 205 冊 | 1,079 枚 |
| ロハスフェスタ広島2019 令和元年 5月 24日(金)～ 26日(日) 於：旧広島市民球場跡地(広島県広島市) | 33,022 人 | 197 フェース | 575 kg | 120 L | 20 kg | 30 個 | 153 冊 | 459 枚 |
| ロハスフェスタ南港2019SUMMER 令和元年 8月 10日(土)～ 12日(月) 於：インテックス大阪(大阪府大阪市) | 24,569 人 | 1,344 フェース | 410 kg | 30 L | 30 kg | 7 個 | 61 冊 | 271 枚 |
| ロハスフェスタ東京2019 令和元年 9月 14日(土)～ 16日(月) 於：光が丘公園(東京都練馬区) | 46,443 人 | 306 フェース | 1,030 kg | 130 L | 140 kg | 27 個 | 144 冊 | 168 枚 |
| ロハスフェスタ淡路島2019 令和元年 10月 12日(金)～ 14日(日) 於：明石海峡公園(兵庫県淡路市) | 台風のため、全日開催中止 | | | | | | | |
| ロハスフェスタ万博2019AUTUMN 令和元年 11月 1日(金)～ 5日(日) 11月 15日(金)～ 17日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市) | 169,372 人 | 854 フェース | 3,010 kg | 488 L | 240 kg | 72 個 | 341 冊 | 2,395 枚 |
| 合 計 | 399,359 人 | 3,397 フェース | 6,795 kg | 1,248 L | 540 kg | 194 個 | 904 冊 | 4,372 枚 |